

# iBT アジア・オセアニアの合格体験記（保護者様による）

## <塾選定について>

日本に戻るタイミングが中学生は確実だったので受験をしたいと思う一方、海外での塾がいまいちしっくり来ず、いろいろな紆余曲折を経て、4年にenaの冬期講習に参加しました。講習はオンラインでの受講ながら、集団授業で画面越しに同級生と受講することで短い講習期間でも多くの刺激を受けたので、4年3学期よりenaにお世話になりました。

## <気を付けたこと>

オンラインの良さは通塾時間を子どもの体力回復、直前期は振り返りの時間が確保できる点だと思います。一方でオンラインなので自分の快適な環境で受講・模試受験ができるので、集団会場特有の雰囲気味わう機会がないのが気がかりでした。（※enaの帰国生模試はオンラインの際に、決められた日時にライブで一斉に受けます）

また、慣れた環境ゆえ集中力も途切れますので、まず4年から5年の2学期ころまではリビングで受講させるようにし、集中力を維持することを意識しました。

さらに受験時には集団会場での受験慣れの練習校を設定し、独特かつ本帰国した受験生たちの雰囲気に慣れるようにし、本命に向けてスケジュールリングしました。

## <学校選定>

受験校選定は一時帰国を利用しオープンキャンパスの予約を入れ本人に学校を見せて具体的なイメージを持たせるようにしました。（文化祭はただ楽しいだけなので、あえて行きませんでした）

オープンキャンパスの時期にもよりますが、6年は時間が取れないので、4⇒5年のころにオープンキャンパスの予約時期を確認、5年には訪問し、志望校が具体的に変わった6年のときは帰国生向けの学校見学に参加して低迷したモチベーションを持ち上げるようにしました。

## <合格のときの気持ち>

本人の実力としても結果が最大限ポジティブに解釈しても五分、でした。ただ、すべての受験の前に息子と「試験に出るのは習ったことだけ。焦るな。思い出せ」を合言葉にのぞんだので、本命も先生方の授業を思い出して落ち着いて取り組めたと言っていました。それを信じて発表を迎えたので、本人の努力が結果に結びつき本当に安心したのを覚えています。

息子は発表サイトの画面を保存して今も見直しています。

最後まで丁寧にご指導いただき、本当にありがとうございました。